

テーマ【 雄大な自然に抱かれよう～黒部立山～ 】

《学習のねらい》

- ・雄大な自然にふれ、自然環境の大切さについて学び、自然を守ろうとする姿勢を育てる。
- ・互いに協力し、助け合うことを通して協調性・自主性を育てる。

《学習の流れ》

実施時期 5月 ～ 6月

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1 2～ 4時	<b>事前学習</b> ・生活班ごとに与えられたテーマに沿って、黒部立山や信州の自然について、インターネットを使用して、分担して調べる。 ・個人で調べたことをA4用紙 1 枚のレポートにまとめる。 ・班ごとにレポートを 1 枚の模造紙に貼り合わせる。	■班で発表内容が重ならないようにテーマを提示する。 ■調べることを分担し、効率よく、効果的に調べられるようにする。 ■調べた情報について、新しさや正確さ等に気をつけ、URLを控えるなど情報リテラシーについて配慮する。
2 3時	<b>発表・交流</b> ・生活班ごとに、調べたことをまとめて説明文を作成し、模造紙と説明をムービーとして撮影する。 ・修学旅行で乗車するバスの中で、各班が作成したムービーを見る。	■発表の仕方について、事前に説明し、どの班も過不足なく発表できるようにする。 ■発表を見る中で、感想を交流させる。
3 5時	<b>ラフティング体験・水力発電所見学</b> ・生活班ごとに協力し、ラフティングを行う。 ・水力発電所の説明を聞き、その歴史やはたらき、現在の景観について学ぶ。	■目的意識をもって、体験を行うよう、丁寧に説明や声かけを行う。
4 1時	<b>まとめ</b> ・感想文を個々で書き、学習したことや体験したことについて総括を行う。	■行動の記録ではなく、感じたことを中心に書くよう促す。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

- ・ラフティング体験

《成果（児童・生徒の感想や反応 等）

- ・観光地として自然を利用する信州を訪れたことで、自然との共存の形について学ぶことができた。
- ・自然を守ること、自然の恩恵を受けることについて、知識だけでなく実体験をもって学ぶことができた。
- ・「こんな山奥に自然を利用して観光地をつくるなんて、日本人の発想はすごい。」「日本の自然が、外国の人に、こんなに人気だなんて知らなかったから、嬉しいと思った。もっと日本の自然について知る必要がある。」といった感想が聞かれた。